

今日のトピック インドの経済・市場動向（2018年1月-1号）

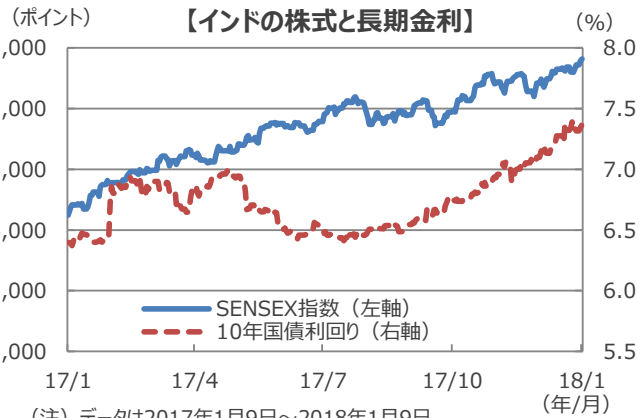
株式市場は上昇基調、債券市場は弱含み

【インド市場の推移】

インド市場	基準日 騰落率または変化幅 (%)				
	1月9日	1週間	1か月	6か月	1年
為替レート					
円/ルピー (円)	1.77	▲0.0	0.4	0.3	3.9
ルピー/米ドル (ルピー)	63.72	0.4	▲1.1	▲1.4	▲6.6
金利					
政策金利 (%)	6.00	0.0	0.0	▲0.3	▲0.3
10年国債利回り (%)	7.37	▲0.0	0.3	0.8	1.0
株価指数					
SENSEX指数	34,443	1.9	3.6	9.8	28.9

(注) データは2018年1月9日基準。

(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成



ポイント1 インド株式市場は続伸 過去最高値を更新

- 2017年12月のインド株式市場は堅調に推移しました。主要株価指数のSENSEX指数は、12月末にかけて34,000台に上昇し、過去最高値を更新しました。17年7-9月期の実質GDP成長率が前期から上向いたことに加えて、12月上旬に行われた州選挙での与党勝利を受けて、モディ政権の経済改革への期待が高まったことが背景です。株式市場は、18年1月に入ってから堅調地合いを維持しています。世界的な株高を背景に、SENSEX指数は連日高値を更新する展開となっています。

ポイント2 インド債券市場は続落 財政赤字拡大を嫌気

- 一方、12月のインドの債券市場は続落しました。長期金利の指標である10年国債利回りは、月初の7.0%台から月末には7.3%台へ上昇（債券価格は下落）しました。債券市場では財政赤字の拡大が嫌気され、17年9月以降売りが優勢となっています。12月下旬にはインド政府が国債増発を発表したことを受けて一段安となり、長期金利は一時7.4%を付けました。18年1月に入っからは長期金利は7.3%台でもみ合っています。

今後の展開 株式市場は堅調維持、債券市場は2月の予算案が注目される

- インド株式市場は、世界的に適温相場が続くことが見込まれる中で、経済の高成長や政府による経済改革への期待が広がっていることから、今後も堅調な展開が予想されます。
- インド債券市場は、2月1日に発表される政府の18年度（18年4月～19年3月）予算案が注目されます。19年前半に予定される総選挙をにらんで財政が拡張的になるようであれば、インド中央銀行は将来の財政赤字拡大、物価上昇を警戒し、金融政策を引き締め姿勢に転換する可能性があるためです。

ここも
チェック! 2018年1月10日 アジア株式市場の見通し
2017年12月20日 2018年度インド経済の見通し

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。